



2019年11月23日～2019年11月29日

2019年12月2日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。

週前半にはゲデス経済相の「今後ブラジルは低率で推移する政策誘導金利の一方で、高止まりする米ドルと共存することに慣れなければならない」との発言を受けてブラジル・レアル安が進行しました。その後、ネト中央銀行総裁が短期的には米ドル急騰への措置として為替介入を継続する姿勢を示したことでブラジル・レアルの下落幅は縮小しました。また、ブラジル・レアル安が継続したことで政策金利の引き下げ期待が後退し、金利上昇につながりました。

経済指標に関しては、11月の各種インフレ率や10月の基礎的財政収支などが発表されました。発表された各種インフレ率はいずれも市場予想を小幅に上回りました。また、基礎的財政収支も市場予想を上回りました。

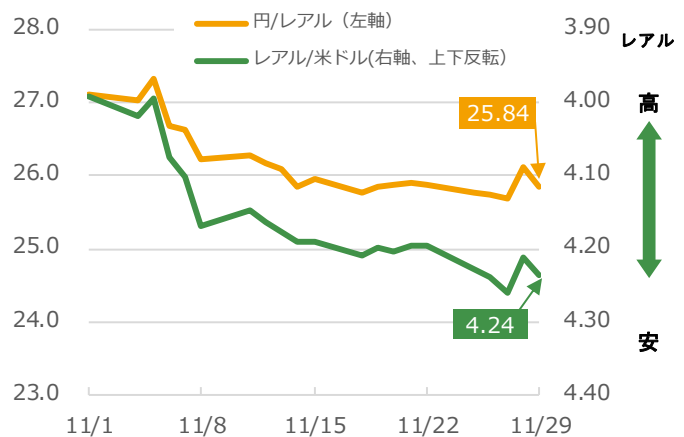
今週の見通し

今週はGDP（国内総生産）成長率やIPCAインフレ率、各種PMI（購買担当者指数）などの経済指標の発表が予定されています。

引き続きブラジル・レアルが弱含む展開となっていますが、社会保障改革や政策金利引き下げによって、来年以降ブラジル経済が回復に向かうとの見方が強まっています。また、マイア下院議長は税制改革について、2020年3月までに下院特別委員会での投票を行い、その後下院本議会での審議に移る予定と発表しており、引き続きブラジル経済の回復、改革の進展が期待されます。

ブラジル・レアル 為替推移

(2019年11月1日～2019年11月29日)
(円/レアル) (レアル/米ドル)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移

(2019年11月1日～2019年11月29日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。